

豊岡市教育研修センターだより

豊岡市教育委員会 R6(2024).7.3

No.5

豊岡市のホームページにもアップしています。

豊岡市HP→左中段「くらし・行政」→右下「教育・学校」→「教育研修センター」へ



演劇ワークショップ第一回目が終わりました

今年度は、市内全校の小学校1年生、2年生での実施となります。

回数は小1(3回)、小2(2回)の予定です。

お時間の都合のつく先生方、ぜひご参観ください！また、オープンスクール等の機会に実施する学校もあります。保護者の方もぜひご参観ください！

ワークショップのねらい

- ① 体や声、言葉を使った演劇的な表現活動を通して自分の考えや気持ちを表出し、受容される体験を通して児童一人一人の自己肯定感、自己有用感を向上する。
- ② 自分とは異なる考え方や価値観を持つ他者の存在を認識し、他者と向き合い、自分との違いを受け止める。
- ③ 自分と他者の違いをすり合わせ、集団の中で合意形成をとる。

今年度の実践について(抜粋)

【内容】「何に変身？あてっこゲーム」…枠の中で自分のなりたいものに変身する

- ・Aさん：いぬに変身 ファシリテーター「耳が長い、ふわふわした感じに見えた。」
- ・Bさん：うさぎに変身 ファシリテーター「高く跳んでいてウサギの走高跳の選手みたい。」
- ・Cさん：くまに変身 ファシリテーター「足の筋肉すごい。森の王者に見えた。」

○担任の先生より…緊張しながらも自分なりに表現していました。子どもたち一人一人の本質もみられました。変身した内容について、ファシリテーターの方に価値付けしてもらえました。子どもたちも大変うれしそうにしていました。

○ファシリテーターより…枠の中に入って自分を表現できる児童が多いです。また、それを見ている周りの子どもたちの姿勢がとても素晴らしいです。学校で非認知能力を大切にした教育活動が展開されていると感じます。「自分の表現したものが、すべてそのまま受け入れられること」が、自己効力感に、「最後まで演じること」がやり抜く力に、「演じる内容を考える」ことや「演じるために挙手するもなかなか当ててもらえないこと」が自制心につながります。1年生は、10月(2回目)、2月(3回目)が、2年生は10月(1回目もしくは2回目)、2月(2回目)がとても楽しみです。

★百聞は一見に如かず！

演劇ワークショップのようすは、豊岡市役所HPでご覧いただけます。

トップページ➡くらし➡教育・学校➡特色ある教育・取組み➡非認知能力のための取組み